

# 属人区長のメッセージ：祈りと断食で平和のために一致する

オプス・デイ属人区長は、祈りと断食によって、教皇様の平和への呼びかけに一致して応えるよう招きます

2022/03/01

愛する皆さんへ。イエスが私の子どもたちを守ってくださいますように！

ヨーロッパで起こった新たな戦争に対し、教皇様の呼びかけに心から一致して、暴力に対しては祈りと断食で応じましょう。来たる3月2日の平和のための断食の日を生きることに加え、一日中何度も、子としての信頼をもって、平和のたまものを神に願い求め続けましょう。祈りと断食の実践は、将来を閉ざされ、全てを失い苦しんでいる人々に、私たちを近づけるでしょう。

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる」（マタイ5,9）。歴史の流れを変えるには、私たちは無力を感じます。しかし、私たちは祈りの力を支えにしましょう。主がいらっしゃらなければ、人々の心に平和を築くすべての努力は不十分です。同時に、平和は継続的な日常の仕事であることを考えましょう。平和を築くという真福の主人公になることには、自分の家族、仕事、社会生活において

平和のために働き促進させることができます。神は私たち一人ひとりが、私たちの兄弟姉妹の番人となること望まれたのです（創世記4,9参照）。

特にミサにおいて、また、平和の元后である聖マリアへの私たちの祈りにおいて、苦しんでいるすべての人々のことを特別に心に留めましょう。

心からの愛情を込めて祝福を送ります。

あなた方のパドレ

フェルナンド

ローマ、2022年2月26日

Zokujinkuchou-no-messeeji-Inori-to-  
Danjiki/ (2026/01/23)